

3つの「タイ」の話



「子どもの心には三つの『鯛』が住んでいる」という言葉があります。

- ★1【褒められ】タイ…「よくできたね」
- ★2【認められ】タイ…「ここまでよく頑張ったね」
- ★3【頼りにされ】タイ…「ありがとう」「助かったよ」

【3年生校外学習より】

この3つの『タイ』の視点をもって接することで、子どもとの関係や学級集団が柔らかく満ち足りたものになると思います。子どもだけではなく大人にもいえることかもしれません。

誰もが褒められたい、認められたい、頼りにされたい…
そのようにも感じています。



10月から11月にかけて本校では、校外学習、運動会、修学旅行があります。普段の学校生活では味わえない、学校行事を通して`身につく力、がたくさんあります。2学期は更に子どもたちに寄り添い、軌跡と成長を見届けていきたいと考えています。ご家庭でも、3つの『タイ』の視点で声掛けをお願いします。

2学期の生活目標「どんどん掃除」

2学期の生活目標は「どんどんそうじ」です。



1年生も学校生活に慣れ、掃除もみんなで協力をして取り組んでいます。どの学年の子どもたちも、担任の先生と一緒に、とても上手に掃除をしています。ぞうきんの扱い方など家でやるとさらにうまくなりますね。

1 学期、「さわがしい」とか、「ふざけて掃除ができない」という姿もちょこちょこ見られましたが、時間と経験が子どもたちの成長を後押ししてくれました。9月が終わり、掃除の時間に「どんどんそうじ」のアナウンスが入ると、みんなしゃべらず静かに黙々と掃除をしています。

写真は、一生懸命掃除に取り組む4年生の美しい姿です。4 年生は、トイレのスリッパもきちんと揃えてくれています。

また、静かな中での掃除から、以前まで聞き逃していた音が聞こえるようになりました(相撲や野球の無観客開催で、今まで聞こえなかった音が聞こえたように)。

廊下のぞうきん掛けのときの上靴のキュッキュッキュツという足音。一生懸命、力をこめて廊下を拭いている美しい音だと感じました。

ほうきではく時のサッサッサツという音。ぞうきンを絞る ときのポトポトポト、水の音。美しい音がいくつも聞こえてくる中で、黙々と集中して取り組む美しい姿は、人の心を打ちます。

